

一筆啓上

# 作左通信



第二二二号 令和四年二月十五日(火) 発行

## 「作左の会」との出会い 作左の会 会長 山田 靖

私と「作左の会」との出会いは平成一一年二月二六日の「作左の会発足会」でした。

その時の会場宮地町公民館は、満席で、期待と高揚感、熱気に溢れていたことを、今も鮮明に覚えていています。

私は「一筆啓上 火の用心 お仙泣かすな 馬肥やせ」の言葉は以前から知ってはいたものの、これは、どこの誰の作か知る由もありませんでした。しかし、作者は六ツ美西部学区の宮地町に生まれ、徳川家康に仕えた戦国武将「本多作左衛門」であったのです。彼は「鬼作左」と言われる剛直な性格の反面、思いやりのある人情味豊かな人だったよ

うです。この作左の思いやりを大切にすると、学区の町興し活動に活かそうと取り組んだのが「一筆啓上・作左の会」です。また、このきっかけとなつたのが六ツ美西部小学校開設初年度の学芸会、六年三組の「本多作左衛門」でした。これを見た当時の総代さんたちが町興しの会へと動き出したのです。なんとドラマチックなことでしょうか。ちなみにこの劇を主導したのは担任の 堺 正司先生でした。

(現在 野畑町在住)

これまで作左の会が手掛けてきた事業は「ふるさと六ツ美西部」はじめ写真史、作左通信の合

本の発刊、俳句・短歌の「ふるさと賞」、俳句の会、地域の歴史を探る会など多岐に及んでいます。また、作左の知名度をどう上げるかの観点から、ホームページの開設、作左のパンフレットの制作など、現在に至っております。

そこで、作左の会について思いをはせれば、

- ① 町おこし事業として「作左の会」を立ち上げた当時の先輩たちの偉業
- ② その事業をさらに拡大し、育んでこられた皆さんすべてが、歴代総代さんであること
- ③ そして今後の町興し事業をどう繋げていくかについてです。

時代は常に変化していくものです。しかし、なくてはならないものは地域の絆を大切にすることです。地域とともに活動する「作左の会」と郷土の英雄「本多

作左衛門」を、次の世代にもぜひ繋げていってほしいものです。

※裏面に、「一筆啓上・作左の会の歩み」を掲載しましたのでご覧ください。

発足会で挨拶する石川保夫初代会長



作左の会 検索

## 「一筆啓上・作左の会」のあゆみ

年 月 日	具 体 的 実 施 事 項
平成 9 年 4 月 1 日	六ツ美西部小学校・西部学区創立（六ツ美北部小学校・北部学区から）
平成10年 2 月 8 日	小学校の学芸会で、6年生が創作劇「本多作左衛門重次」を上演。 この学芸会をきっかけに、本多作左衛門を町おこしにと「一筆啓上・作左の会」の立ち上げを進める。
平成11年12月26日	「一筆啓上・作左の会」発足総会。宮地町公民館に180名参加。
平成12年 2 月 10 日	作左通信第一号発行。以降随時発刊
平成12年 3 月 28 日 ～ 29 日	作左衛門終焉の地、茨城県取手市市役所を表敬訪問。市長教育関係者と交流。 作左衛門の遺品のある菩提寺の本願寺と墓所を視察。（役員10名が参加。）
平成12年 6 月 20 日	石のベンチ設置。「愛（あ）・夢（ゆ）・緑（み）」の文字を刻んだ石のベンチを学校、こどもの家、神社、寺院、公民館、役員の庭など16組を設置。
平成12年11月 9 日	福井県丸岡町表敬訪問と丸岡城見学。 （作左衛門の長男、お仙こと仙千代、後の本多成重が丸岡城の城主となった。）
平成13年 1 月 21 日	一筆啓上碑の設置。学区市民ホーム敷地内。
平成14年 3 月 2 日	茨城県取手市第3回頑固者賞表彰式と本多作左衛門の創作劇上演に、石川保夫会長、堺正司理事参加。
平成17年 4 月 10 日	家康行列参加。家康役永田正男会長。会員や関係者総勢45名。
平成17年 4 月 29 日	愛・地球博に家康行列、総勢35名参加。
平成17年 5 月 15 日	俳句、短歌の「ふるさと賞」を創設。小学生、一般俳句219句、短歌98首の作品集を発刊。総会にて優秀作品を表彰。
平成18年 4 月 9 日	家康行列に「一筆啓上・作左隊」で初参加。会員揃いの法被姿、総勢20名。
平成19年 4 月 8 日	家康行列に「一筆啓上・作左隊」二回目の参加。会員揃いの法被姿で総勢20名
平成19年 6 月 22 日	ふるさと読本編集委員会の編成。毎月1回を目途に開き、平成21年4月発刊予定。
平成20年 6 月 28 日	「一筆啓上・家康と鬼の本多作左衛門」（横山茂氏）出版
平成21(2009)年度	7月 ふるさと読本「ふるさと六ツ美西部」出版
平成26(2014)年度	3月 ふるさと読本「ふるさと六ツ美西部写真史」発刊
平成28(2016)年度	6月 丸岡城と「一筆啓上 日本一短い手紙の館」を見学交流。
	3月 「作左通信から見た活動の歩み」発行
平成29(2017)年度	8月 作左の会ホームページ 開設
	3月 取手市から「とりで・市民ミュージカル」の鬼塚委員長ら4人が来訪、交流後、長篠方面を視察。
令和元(2019)年度	「地域の歴史を探る会」,「さくざ句会」を発足
	5月 取手市を訪問（山田会長、兵藤前会長） 作左をモチーフとした取手・市民ミュージカル「鬼の涙が見た未来」を鑑賞、市幹部とも面談、交流。翌日作左衛門の墓参り。
令和 2 (2020) 年度	7月 丸岡から「一筆啓上 日本一短い手紙の館」武曾館長、「丸岡文化財団」田中理事長他が来岡し、交流
令和 3 (2021) 年度	4月 本多作左衛門パンフレットが完成。中根市長、報道関係にも報告PR 常任理事の設置により「明日の作左を考える会」を創設、会の将来構想の検討始める。
	11月 「一筆啓上作左の会」紹介チラシ作成